

光村ポケット

中学校 美術

定番題材を
パワーアップ！

\\ ポスター×写真×特別活動 //

多くの学校で取り組まれ続けるポスターの題材。学習用端末の活用や特別活動との連携によって、学びを深めた事例を紹介します。

題材名

「一瞬を捉えて」
生徒会スローガンポスター

(2年 / 全5時間 / デザイン / 表現・鑑賞)

岩手県盛岡市立上田中学校

おやまゆう た

小山祐太先生の実践

LINE公式アカウント友だち募集中!



授業づくりに役立つ情報を、
いち早くお届けします。



光村図書

【教授用資料】 本資料は、一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」に則って作成したものです。

一瞬を捉えて 生徒会スローガンポスター

岩手県盛岡市立上田中学校 おやま ゆうた 小山 祐太 先生の実践

題材のねらい

生徒会スローガンを視覚的に表現したポスターを制作する授業です。長年実践されてきたように、絵の具を用いてレタリングなどの技法を生かして描くのではなく、一人一台配布のタブレット端末を活用して、写真を撮影・編集しながら、デザインします。光や色彩、構成による印象の変化について、実感を伴いながら理解できるようにすることが大きなねらいです。

また、生徒会活動と連携し、制作後には生徒会執行部と教職員が審査するコンクールも実施します。選抜された作品を実際に校内に掲示することで、生活の中の美術の働きを実感できるようにすることにもつながられます。

準備物

- 教師 ワークシート
- 生徒 タブレット端末など

生徒作品

水たまりへの映り込みを生かし、普段見慣れた校庭の風景を特別な一瞬として表現しています。撮影位置や構図を工夫することで、「思いを伝え合う」という生徒会の目指す姿を見事に表現した作品です。



活動の流れ 2年／全5時間／デザイン／A表現（1）イ（イ）、（2）ア（ア）（イ） B鑑賞（1）ア（イ）

時	学習活動	指導の手だて
1	●露出やコントラストなど、撮影の基礎や構図の工夫を学ぶ。	●さまざまな構図で撮影することを試す時間を設ける。 ▶ アイデア1
2・3	●スローガンをもとに、ポスターで伝えたいことを考える。 ●主題をもとに、構図などのアイデアを検討する。 ●構図や光などの効果を考えて撮影する。	●学級会や生徒総会で話し合った内容を振り返り、スローガンに込められた思いや願いをもとに主題を生み出せるようにする。 ●さまざまな光や構図を試せる場所で撮影できるようにする。 ▶ アイデア2
4	●露出、コントラストなどの効果を工夫しながら、タブレット端末で画像を編集する。 ●書体（フォント）について学び、タブレット端末でポスターに文字を入れる。	●視覚的に編集の効果が確認できるアプリケーションを活用し、生徒のイメージが膨らむようにする。 ▶ アイデア3
5	●作品を鑑賞し合う。	●作品に込めた思いや表現の工夫を話し合い、なぜその構図や光を選んだのかという作者の意図に着目して鑑賞できるようにする。
特別活動	●完成した作品を生徒会執行部や教職員が審査し、その評価を生徒に返すとともに、選ばれた作品は拡大して校内に掲示する。	▶ アイデア4

アイデア1 本番撮影の前に「練習タイム」を設ける

今の中学生の多くは、日常的に写真を撮影しています。しかし、構図やアングル、光などを意識して撮影する経験には個人差があり、何も考えずにシャッターを切ってしまうことも少なくありません。そこで、造形的な見方・考え方を働かせながら写真を撮る練習として、ワークシートと人形を活用した活動を取り入れました。生徒は楽しみながら構図やアングル、光を工夫して撮影していました。人形を活用することで発想が広がり、思いがけないドラマチックな作品も生まれました。構図やアングルは、写真表現だけでなくさまざまな表現活動に生かせる大切な視点であり、ここで整理しておくことはその後の学習にもつながります。

写真で表現する 技法練習プリント

様々な構図で撮影を行い、写真の基礎を身につけよう！今後の作品制作や鑑賞に生かしましょう。



TIPS

ワークシート例

「ローアングル」といったアングルや「アップ」「ルーズ」などの構図、「順光」「逆光」などの光の向きを試せるようにしています。練習して撮った写真は、タブレット端末でワークシートに貼り付けて、記録します。

アイデア2 光を意識できる撮影場所を設定する

天候のよい日に校庭で撮影を行います。教室では得られない自然光を生かすことで、光の向きや強さ、影の向きによる印象の違いを実感できます。撮影場所や構図を変え、お互いにモデルとなりながら何度も撮影する姿がありました。撮影した写真を見比べながら、光や構図による印象の違いを確かめ、表したいイメージに応じて写真表現を工夫できるようにします。



TIPS

体育館を活用した事例

体育館ならカーテンの開閉やステージ照明のオン・オフを工夫して、光の向きや明るさが異なるさまざまな撮影環境をつくり出せます。



アイデア3 画像編集機能を活用する

タブレット端末の画像編集機能を使って、「露出」「明るさ」「コントラスト」「彩度」などを操作し、画像を編集します。編集画面のゲージを操作するだけで、彩度などが一瞬で変化するので、生徒はその印象の変化を実感的に捉えることができていました。一方で、一瞬で画像を編集できることは闇雲に制作してしまうことにもつながります。色彩や構成など、造形的な視点に基づいて、自分が表したいことを表すための試行錯誤が生まれるように、視点を丁寧に示しながら指導することが大切です。

アイデア4 生徒会活動と連携する

生徒会活動と連携し、ポスターコンクールを実施しました。生徒会執行部や教職員が審査員となり、受賞した作品は拡大印刷して校内に掲示します。掲示作品を見て、ポスターならではの大きさや迫力を感じ、足を止めて鑑賞する生徒の姿が見られ、生活の中の美術の働きを感じさせることにつながりました。



TIPS さまざまな特別活動との連携

体育祭や文化祭、生活向上の取り組みなどと関連づけ、制作したポスターを校内で活用することも、生活の中の美術の働きを身近に感じさせるために効果的です。



生徒作品



授業を終えて

おやまゆうた
小山祐太先生 (盛岡市立上田中学校)

写真を活用し、校庭や体育館など、撮影する場の設定を工夫することで、生徒は光の効果や構図、アングルを意識しながら、より伝わる表現を目指して何度も撮り直しを重ねます。実際に授業では、こちらが驚くような一瞬を切り取った作品にも数多く出会いました。言葉だけでは表せない思いや願いが、一枚のポスターから伝わることに、美術表現の魅力を実感しています。

美術の学びは、教室の中だけで完結するものではありません。この題材は、コンクール形式で作品がどのように受け止められたかを知ったり、拡大して掲示されたポスターを鑑賞し、その迫力や伝わり方を実感したり、学んだことを生かして行事等のポスターを制作したりするなど、生活の中で学びを生かす機会を生み出しやすい題材でもあります。これまで、学校生活向上、部活動応援、生徒会スローガンなどをテーマに実践してきましたが、アイデア次第でさまざまに展開を工夫できる題材として、まだまだ可能性を感じています。これからも、生徒の学びをさらに深められるよう、実践を重ねていきたいと考えています。



光村図書

教授用資料

発行者 吉田直樹
発行所 光村図書出版株式会社
〒141-8675 東京都品川区上大崎2-19-9
電話:03-3493-2111(代表)

光村図書ウェブサイト

光村図書 | 検索

